

2021年10月11日
株式会社タカラレーベン

富士山朝霧バイオマス発電所 再稼働開所式開催のお知らせ ～ 当社初、バイオマス発電事業の稼働に向けて ～

株式会社タカラレーベン（本社：東京都千代田区／代表取締役：島田和一）が共同出資を行う合同会社富士山朝霧 Biomass（本店：静岡県富士宮市／代表社員：株式会社土谷特殊農機具製作所）は、10月1日に富士山朝霧バイオマス発電所の再稼働開所式を実施しましたのでお知らせいたします。



合同会社富士山朝霧Biomass

■ 当事業の目的

当社は2013年よりメガソーラー発電事業に参入し、電力供給の安定化を通じた社会貢献の一環という位置付けで再生可能エネルギーを活用した発電事業を行ってまいりました。

本事業は太陽光発電事業に次ぐ再生可能エネルギーを活用した発電事業として推進する目的で参入いたしました。バイオマス燃料を活用した発電事業は当社として初めての取り組みとなり、乳牛農家の牛ふん処理問題解決に向けた地域貢献も目的としています。

■ 再稼働開所式の開催

2022年度の売電開始に向けて10月1日に富士山朝霧バイオマス発電所の試験稼働を開始し、開所式を実施いたしました。開所式では、関係者が見守る中、燃料となる富士開拓農業協同組合の会員から収集した牛ふんを、ふん尿原料提供農家代表の関内慎介様が原料投入を行い、試験稼働を開始いたしました。

また、地域資源を生かした地域循環型共生圏の構築に向けた周辺地域への電力供給を目的に、地元の新電力会社である富士山エナジー株式会社（本社：静岡県富士宮市／代表取締役：篠原松太郎）と合同会社富士山朝霧 Biomass において、電力協定書を取り交わしました。

〈原料投入の様子〉



〈電力協定書締結の様子（両社代表）〉



■ 関係者のコメント

・合同会社富士山朝霧 Biomass 代表社員：

株式会社土谷特殊農機具製作所 営業統括取締役 土谷 賢一 様

「2020年3月の環境省モデル事業終了から早くも1年半が経過し、本日ようやく第一歩を踏み出すことができました。この事業は地域の皆さまの協力が無ければ進めることができません。有効活用していただけるよう、使いやすい施設にしていきたいと思っております。」

・富士山エナジー株式会社 代表取締役：篠原 松太郎 様

「エネルギーを通じて、心豊かな未来文化をはぐくむという企業理念の基に事業を行っている中で、エネルギーの地産地消を実現する当発電事業に携われることは大変望ましいです。今後とも、合同会社富士山朝霧 Biomass の皆さまと一緒に地域の発展に向けて努力してまいります。」

・株式会社タカラレーベン 副社長執行役員：清水 一孝

「バイオマス発電事業は、これまで太陽光発電事業に取り組んできた弊社にとって初めての取り組みとなります。当事業は環境問題解決に向けた大いなる可能性を秘めており、将来の日本の為、この富士宮市朝霧地区の発展の為に着実に取り組んでまいりたいと思っております。」

■ 今後の予定

2022年1月に予定している廃掃法処分業許可を取得後に発電所の本格稼働を行い、発酵後の消化液を富士山朝霧バイオマス液体肥料として多方面へ販売を開始する予定です。また、FIT（固定価格買い取り制度）による富士山エナジー株式会社への売電開始は2022年度内を予定しております。

■ 本事業の特長

本事業で使用する発電施設は、環境省による「環境調和型バイオマス資源活用モデル事業」で使用していた施設を活用しております。解体予定であった施設を再利用することで、解体により発生するCO₂排出の抑制にも繋がっており、脱炭素社会の実現と循環型社会の構築に向けた時代に相応しい施設として再利用を行う事業となります。



E (Environment) 環境

モデル事業設備を取り壊さずに再利用する事により3Rを実現（リデュース・リユース・リサイクル）牛ふんをプラントに供給する事により、悪臭や、河川の水質汚染懸念など環境汚染の解決に寄与。

S (Social) 社会

牛ふんから発電した電気は供給先の農家や地域住民に売電、地産地消エネルギーとなる。自家用EV急速充電機を設置、地域利用に役立つ。プラントの再稼働にて地元住民を雇用、農家の後継者や地元の意識の変化。

G (Governance) 企業統治

環境省のモデル事業を再活用するという国の政策の承継であり地域の課題を振り下げた農家、農協との取組みは新たなモデル事業となる。

■ 発電所概要

発電所名称 : 富士山朝霧バイオマス発電所
事業主 : 合同会社富士山朝霧 Biomass
共同事業者 : 株式会社土谷特殊農機具製作所、富士開拓農業協同組合、株式会社タカラレーベン
所在地 : 〒418-0101 静岡県富士宮市根原字宝山 115-1、115-2 および 116 番地の 3 筆 (地番)
発電容量 : 100kwh
想定年間発電量 : 693, 792kwh
燃料 : 富士開拓農業協同組合の会員から徴集した牛ふん(17t/日・約 350 頭分)
着工 : 2021 年 7 月
売電開始 : 2022 年度内 (予定)

■ 会社概要 (合同会社富士山朝霧 Biomass)

商号 : 合同会社富士山朝霧 Biomass
所在地 : 〒418-0101 静岡県富士宮市根原字宝山 115 番 1
設立 : 2021 年 4 月
事業内容 : 畜産バイオに係る再生エネルギーの製造販売 他
資本金 : 1 百万円

■ 会社概要 (富士山エナジー株式会社)

商号 : 富士山エナジー株式会社
所在地 : 〒418-0075 静岡県富士宮市田中町 543
設立 : 2018 年 9 月
事業内容 : 自然エネルギー・再生可能エネルギー等発電事業及び電力の買取事業 他
資本金 : 11 百万円

■ 会社概要 (株式会社タカラレーベン)

商号 : 株式会社タカラレーベン
代表者 : 代表取締役 島田 和一
所在地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 鉄鋼ビルディング 16F
設立 : 1972 年 9 月
事業内容 : 自社ブランドマンション「レーベン」・「ネベル」シリーズ及び、
一戸建新築分譲住宅の企画・開発・並びに販売、
発電事業、ホテル事業、建替・再開発事業、海外での不動産販売事業 他
資本金 : 4,819 百万円
U R L : <https://www.leben.co.jp/>

【発電事業に関するお問い合わせ先】

株式会社タカラレーベン
エネルギー事業部 エネルギーソリューション室
担当 : 清
Tel : 03-6551-2155

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タカラレーベン
経営企画本部 経営企画統括部
経営企画部 広報課 担当 : 金野尾
Tel : 03-6551-2130